

ルビーロウムシ (Red wax scale)

Ceroplastes rubens Maskell



チャに寄生する幼虫(8月撮影)



ヒサカキですす病が発生(9月撮影)
左上は幼虫拡大

特徴

カイガラムシの仲間。

さまざまな樹木に寄生し、吸汁加害します。幼虫、雌成虫は、あずき色のロウム物質をまとい、枝葉に定着して移動しません。年1回発生し、夏の終わり頃から目につきはじめます。すす病を誘発し、樹木が黒くすすけます。

被害と対策

天敵ルビーアカヤドリコバチの活躍で発生が抑えられています。生産茶園で多発することはまれなので、見つけたら手で取りましょう。